

株式会社 山本水圧工業所

高水圧技術と塑性加工
技術のトップメーカー

複合水圧試験器

海外
発注可
企画力
自信有
オンライン
技術
メイド
イン
ジャパン

業務内容
「油水圧技術」で顧客の
悩みとニーズに応える

創業以来、水圧や油圧を用いた技術を提供し続けてきた山本水圧工業所。「ハイドロフォーミングマシン」や「CNCパイプベンダー」「耐圧試験機」、さらには「高圧水発生装置」等、油圧応用装置を国内外のさまざまな分野に提供している。環境にやさしい水を活かした技術で、各産業の省力化、ハイグレード化、安全性の向上に貢献している。

主力商品はハイドロフォーミングマシンの他、ボイラーチューブ用連続曲げ装置、銅管耐圧試験機、水加圧サイクル試験機等。各分野で高い評価とシェアを誇っている。



ハイドロフォーミングマシン

強み
豊かな経験と実績を活かした
「問題解決型」技術

同社の特長は顧客の問題解決に寄与する製品を提供していることだ。最終装置の設計製作で顧客の要望を満たすだけでなく、加工工程の検討等の提案も積極的に行う。長年の経験に裏付けされた技術と経験を駆使し、顧客の業務改善や付加価値の提供を行っている。また、ワンストップですべてをまかなう点も強みの一つだ。ハイドロ

今後の
展望
しなやかな受注生産方式
で海外に羽ばたく

フォーミングに曲げ技術や潰し技術を組み合わせるのももちろん、他社との連携も活かして、同社の専門である油圧応用技術とさまざまな技術をマッチングさせた製品を提供している。顧客の生産ラインにトータルに関わることで、問題点が把握しやすくなる。実態をつかんでいけば的確な設備の提案ができ、さらにトラブル発生時にも迅速に対応できる。高度な設計技術と時間をかけてつくり上げた信頼関係で、非常に高い顧客満足を得ているのが同社最大の特長だ。

員成
国際社会で活躍できる
中堅・若手人材を育成

現在も海外企業や在外日本企業からの引き合いが多い同社ではあるが、今後さらに海外での販路を広げていきたい考えだ。既製品を海外に販売するスタイルに加え、同社の得意とする問題解決型、提案型の受注生産方式で顧客のニーズを満たし、満足を得る柔軟な設計・製作を海外でも行うべく、急ピッチで準備を進めている。

従来技術を継承すると同時に、海外でも活躍できる人材の育成にも積極的に取り組む。日本塑性加工学会の企業賛助会員で、同チューブフォーミング分科会に属する同社。年2回行われる学会の講演会や国際会議への若手・中堅技術者の参加や研究論文発表を奨励している。大学や大手企業との研究者との情報交流、専門知識・技術討議能力の向上が狙いだ。

COMPANY PROFILE

株式会社山本水圧工業所

大版
23ISO 9001
JISQ 9100

祖父が起こした会社を継ぎ、一貫して水圧や油圧を応用した技術を活かした事業を行っています。80年代にはさまざまな分野にチャレンジしましたが、現在は分野を絞る一方、周囲の企業と協力することでお客様の求める機能や性能を満たす装置・機器を提供しています。経営理念に掲げた「創造する技術で社会に貢献する」の通り、お客様、社会に貢献していきます。

私たちの仕事は「お客様の抱える宿題」を
解決するお手伝いをすることですね。

代表取締役社長 山本 知弘さん



■主な事業内容

油・水圧応用機械装置及び、各種油・水圧機器の製造・販売等

■主な取引先（納入先）

総合金属メーカー、製鉄メーカー、自動車メーカー、重工業メーカー、造船会社等

住所／〒561-0835

豊中市庄本町2-8-8

TEL／06-6334-4651

FAX／06-6331-2516

創業／昭和5年4月

設立／昭和18年3月

資本金／9,979万円

従業員／57名

<http://www.hyprex.co.jp/>